
Hallelujah

日野五十鈴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

H a l l e l u j a h

【Nコード】

N 5 1 3 1 J

【作者名】

日野五十鈴

【あらすじ】

“預言者”を探している…しかしその預言者は、今まさに刑にかけられようとしていた。

小さな街に、バイクのエンジン音が響き渡る。

青年はバイクに跨がったまま、近くを歩いていた住民に声をかけた。

「おい」

…住民は、その目付きに恐れを感じて逃げ出してしまった。

「……………」

気を取り直してまた別の住民に声をかける。

「おい」

…今度はちゃんと振り向いてくれた。

「“預言者”を探している」

「…あんた、教会の者かい？」

住民は何か苦々しい顔で付け足した。

「執行人にとっつかまったら、ただじゃ済まないよ」

「…執行人に用はない。俺が探してるのは“預言者”だ」

住民は深々と溜め息をついた。

「まあ、今日はその“預言者”様もお休みだろうよ」

「…？」



預言者…少女は、ただそこにいた。

山のように積まれた死骸の傍で、辺りにただよう腐臭をもともせずに、目を閉じてただ祈っていた。

突然、鳴り響いた重い扉を開く音が少女の祈りを止めた。

「おい、時間だ」

少女は手枷ごと鎖を掴まれ、刑場へと引っ張り出された。

そこには1脚の電気椅子。

「座れ」

「……………」

少女は一切抗うことなく、大人しく椅子に座ろうとした。

そこに。

「おい」

…少女が振り向くと、大型のバイクに乗った青年がいた。

髪が赤く、黄色いボロボロのツナギを着ている。

「“預言者”を探している」

執行人はニィと笑って鎖を引っ張った。

「…こいつがそうだ」

「……………」

青年はバイクから降りて近付いてくる。

「この偽“預言者”は、とんでもない預言をしゃがったんだ。よりにもよってこの“聖地”に、『神の制裁が下る』とかぬかしやがった。街の腑抜け連中は逃げやがって、この街は枯渇問題よ」

「……………」

青年は真っ直ぐに少女のもとへ行くと、その細い顎を上向かせた。

「…お前の預言は本物か？」

「……。…そんな先のこと…預言できるわけないわ」

なるほどな、と青年は手を離す。

「気に入った…こいつを貰おう。言い値で買うぞ」

執行人は眉を跳ね上げた。そして鎖を握ってない方の手で頭を指し示す。

「お前、頭どうかしてるんじゃないか？　ここにはこのルールつてもんが…」

ドンー！！

青年は荷物から銃を取り出すと、執行人が握っていた鎖を撃ち抜いた。

「な…っ！？」

「バカにされるのは…好きじゃない」

少女が前のめりに倒れる。青年は身の丈ほどもある銃を肩に担いだ。

「ああ…邪魔したな。ここにはこのルールが…、…なんだって？　もう1回言ってくれ」

「貴様…っ、このままタダで済むと思…」

「それは脅しか？…残念だなあ」

ドン…ッ！！

「悪いんだけどさ…脅されるのも、好きじゃない」

…1発の弾丸が執行人の頭をブチ抜いた。



「こんなことして、貴方、執行人に殺されちゃうわ」

「…それは、預言か？ だったら…」

青年はバイクに跨がり、少女に向かって小さなヘルメットを放り投げた。

「その預言は“ハズレ”だ」

神も仏もない、外の世界^{ホント}を見せてやるよ。

ついてこれるか？

「……………」

少女は焼け焦げた“聖職者”たちの死骸の山に再び祈りを捧げると、青年がエンジンをかけて待っているバイクの後ろに乗った。

山ほど積んである旅荷物と一緒に。

少女がヘルメットを被るのを確認してから、青年も自分のヘルメットを被ると、そのまま少女を乗せて走り去った。

置き去りにした“聖地”に、少女の預言どおり容赦なく砲撃の雨が降る。

2人が去ったあとには、何も残らなかった。

く　　　く
ココニ幸アレ　　A　m　e　n　　く

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5131j/>

Hallelujah

2011年10月5日11時40分発行